



# 8月の行事予定

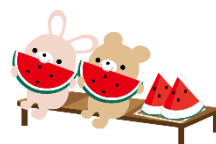


1日(月)～8日(月)	初盆参り	日時を申し込んで下さい
9日(火)～14日(日)	棚経参り	日程表をご覧ください
15日(日)	盆施餓鬼塔婆回向	午前9時～初盆のお家の 塔婆回向 午前10時～初盆家以外の 塔婆回向
17日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生	午後1時～3時 参加費 500円
24日(水)	地藏盆 初盆精霊送り	初盆のお家の皆様 午後6時～ 本堂にて法要 午後7時～ 地藏講・男性詠唱隊の皆様 による御詠歌とともに境内 にて白木のご位牌・古塔婆 等浄焚
6日20日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円
27日(土)	英語歌クラブ 講師 八木和美先生	午後1時～3時 一会館にて 参加費1回 500円 テキスト月 500円

## 8月の行事お休みのお知らせ

写経・男性詠唱隊・戦没者慰霊・英語サロン・茶道教室は  
お休みにさせていただきます。

落語会「いちご亭」は今月はお休みで、次回は9月14日(水)午後7時開催予定です。



## 慶徳院豆知識

(2)



七月も末、早朝からやたらとクマ蝉の音が大きい。アブラ蝉や小さなニーニー蝉の数はめっきり減ってしまった。朝の目覚めにヒグラシの声を聞くことはあるのだろうか…。日本の夏、暑い夏であってよい。変わらないでいてほしい。夏の思い出にひたり、心安らかに、自然に感謝して生きていきたい。

知人三人で、山好きな知人のご主人の案内を得て、尾瀬を訪ねたことがある。

夏が来れば思い出す、はるかな尾瀬、遠い空、霧の中に、浮かび来る、やさしい影、野の小径、水芭蕉の花が、咲いてる、夢見て咲いている、水のほとり、石楠花色に、黄昏る、遙かな尾瀬、遠い空

所々に雪が残っている木道を、足をとられないようにしっかりと歩く。清々しい、心に染み入るカッコウの声も始めて聞いた。

その尾瀬を地図で探してみた。どうしても探せない。あれほど広い…と感無量になった場所なのに地図で見つけられない。

災難や苦勞は、人格を完成させるための溶鉱炉という。その溶鉱炉の中で十分鍛えられた人は、身心ともに強健である。

自分勝手に振舞わず、天地と調和を保っていれば、右往左往することなく生きていけるだろう。地図になくても現前とそこに存在して…。

(栄子)

# 浄土宗新聞を無料で お渡しします！！

## 8月号読みどころ

9ページ 今回はこれがおすすめ。尾木ママこと尾木直樹先生。法政大学に行かれる前ですから、まだ若いころのことですが、何度か直接お話しをさせていただく機会がありました。今回の記事は、懐かしくもあり、また尾木先生の知らなかった一面が垣間見れて楽しかったのです。尊敬できる、素晴らしい方です



## 初盆を迎えられるお家の方へ

8月15日(月) 午前9時～初盆塔婆回向  
8月24日(水) 午後6時に本堂にお参り下さい。  
本堂と地藏堂にそれぞれ1000円を  
志納お願いします。



※初盆精霊灯籠をおまつりされた方は、24日午前中までに慶蔵院に届けて下さい。夜の初盆精霊送りに浄焚させていただきます。



## おしらせとおねがい



## 棚経について



今年も寺世話人さんが、午前・午後、交代して車の運転をして助けてくださいます。

住職と副住職で分担して、棚経にまわらせていただきます。

コロナの関係上、棚経を希望されないお家の方はご一報ください。

日程表をご覧ください。ご都合の悪い方はご連絡ください。可能な限り調整させていただきます。

## 伊勢慶蔵院 YouTube をご覧ください

神宝農産の農場長であった林さんが、慶蔵院の活動をユーチューブで発信してくれています。落語会での前座の法話や研修会での報告、大念仏、念仏行脚、松禅院での法要「礼拝儀」・法話などがアップされています。28日の神谷成章先生の講演も編集できしだいアップしてきます。お楽しみに…。

## 住職の健康回復への道(七)

先日二十四時間ホルダーをつけて心臓の動きを調べてもらった結果ができました。私の脳梗塞の原因となっている心房細動が消えていました。心房細動という病気は、心臓が痙攣をしているような状態で、血液が固まり、それが脳に詰まると脳梗塞になるといわれています。しかし心臓全体がよくなったわけではありません。徐脈といって脈拍が三〇から四〇の時があります。これではペースメーカーを入れなければならぬ状態です。さらに詳しく検査しておこうと、二十八日には、八尾にある総合病院に予約してもらって心臓のエコー検査も受けてきました。

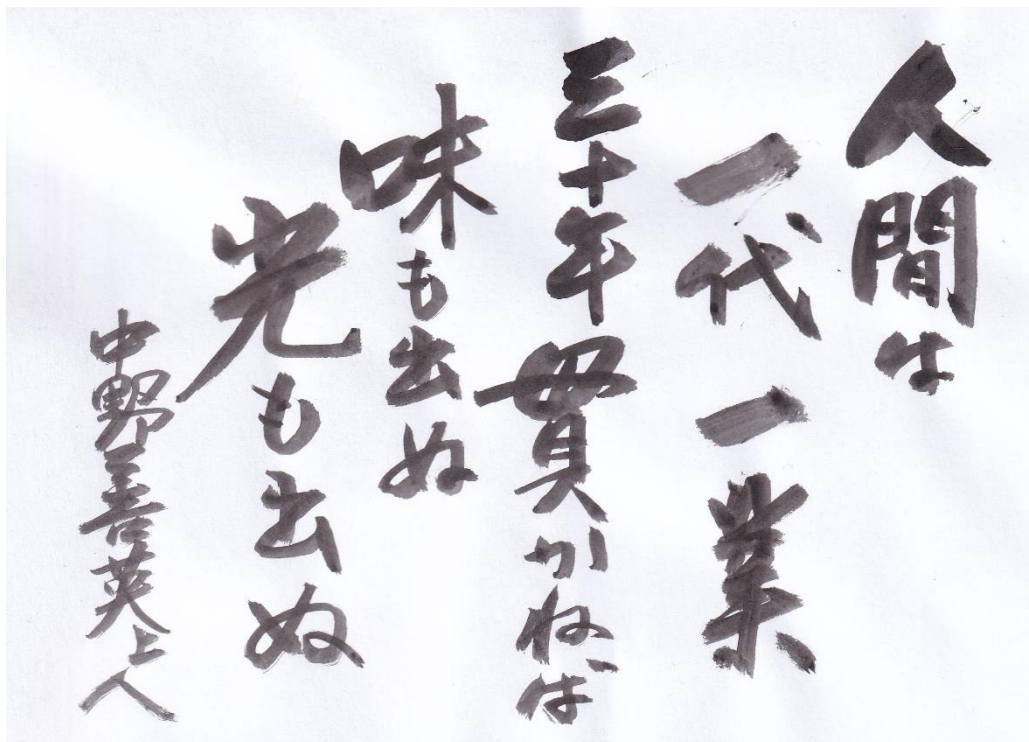
睡眠時無呼吸症候群についても、イビキはずいぶん軽減されてきているようですが、検査では一晩で一八回呼吸が止まっており、そのうち一回は一八秒呼吸していない状態です。油断はできません。八月二十日には、大阪のクリニックで一月から現在までの体験を発表させていただくことになりました。そこには何人かのお医者さんも参加されるそうで、その一人には元聖路加病院院長さんもおられます。

「病気は氷山の一角」である…。石垣先生の言葉です。病気を作ってきた、氷山の見えていない部分を知ることが予防につながり、予防こそが最大の治療だとおっしゃっています。

ポクポクと木魚念仏夏の午后

奥田 悦生

(「知恩」誌八月号「柳壇」に掲載)



七月二十七日、朝日新聞夕刊が一面で報じていた。「半世紀以上に渡り、世界の名画を紹介してきた東京・神保町の映画館『岩波ホール』が、二十九日で閉館する」と…。

私も七月で㈱神宝農産を解散すると宣言した。神宝農産が追求した《思い》をどのように継承していくのか…、株式会社としての農業経営には失敗したけれども、ここで学んだ経験を農業再生への大切な教訓として、自分にまだできることは何なのか…と、あきらめることなく、歩んできた道をさらに遠くまで、模索しながら、歩んでいきたい…と考えている。

今日、二十八日、神谷成章先生が慶蔵院まで足を運んでくださった。先生が新しく開発された栽培方法によって育てられたメロンと南瓜を携えて…。「誰でもが負担なく、野菜を育てることができる方法を、慶蔵院から多くの人に伝えていってほしい…。枯れることなく花が咲き、ハチが集まってきて受粉をしてくれる。どんどん実がなり、糖度が上がり、おいしいものができるから…」と、足元からの農業再生と発展の方向を示してくださいました。

山田洋次監督は、渥美清さんをさそって、よく岩波ホールに通った。「旅芸人の記録」も二人で見たという。一九七九年のことだ。今日の「知的な映画が見られなくなった時代を私たちはどう考えればよいのでしょうか」と山田監督は嘆く。

横井久美子もギリシヤ映画「旅芸人の記録」を観た。映画の中の役者の死と横井の育ての親ともいえる越寿雄氏とがかさなっていた。越さんの口癖は「新しい創造をもって人々の中に」だった。

《人間の心をゆさぶり、人間として力を与える音楽を求めめるのは、私の願いだだけではなく、全ての人びとの願でもある…》と越さんは横井久美子一〇周年記念コンサートパンフレットに書いてくれたという。音楽だけでなく、映画も農業も宗教もそうではない。新しい創造が必要だ。越さんは「人の心に火をつける人」であったそうだ。